

会員各位

協会だよりー280(4月号)

JCRA(Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第41期定期総会開催（総会資料は4/19事前にお送りいたします）

日 時：5月12日（木）

場 所：JX六本木クラブ

- 役員会 14:30～15:30 2F会議室
- 総 会 16:00～17:00 2F会議室
- 懇親会 17:30～19:30 BF和 室



一. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

【予定事項】

二. 会員会社より連絡（人事異動・担当者交代）

三. 各委員会の報告

四. 事務局より（四年度の予定）

五. 【雑学】町田市の境界を巡る2.（すずかけ台駅

～鶴川駅まで歩く～

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー279（3月号）をメール&郵便で送信（2／29）

- ② 第一回広報委員会

日 時：平成28年3月8日(火)11:00～12:00

場 所：ジョンソン・マッセイ・ジャパン合同会社会議室

出 席：尾沼 涼委員長（JMJ）、渡部真治委員（川研ファインケミカル）、西野正人委員（中外鉱業）、井上委員代理（JX 金属）、小林専務理事

議 題：広報企画案、触媒資源化実績報告書（2015年版）のマスコミ発表、協会HPの活用、他

- ③ 平成28年度の年会費請求書の送付 (3/11)。
- ④ 第九回運営委員会
- 日 時：平成28年3月17日 (木) 16:00~17:00
- 場 所：堺化学工業㈱会議室
- 出 席：運営委員、次期運営員予定者、専務理事
- 議 題：2015年の総括と2016年の企画案 (主に月例会の検討)、他
- [予定事項]**

- ① 平成27年度の会計監査
- 日 時：4月12日(火) 15:30~
- 場 所：太陽鋳工㈱会議室
- 出 席：監事、会計、専務理事
- 業 務：平成27年度の会計監査
- ② 第33回 JSCRA 会(協会ゴルフ大会)
- 日 時：平成28年4月11日(月) 集合8:30 (スタート9:15)
- 場 所：多摩カントリークラブ (〒206-0822 東京都稲城市坂浜 3360)
- ③ 第41期(平成28年度)定期総会資料の送付 (4/14 予定)
- ④ 触媒資源化実績報告書 (2015年版) の送付 (4/14 に総会資料に同封予定)

2. 会員会社より連絡(人事異動・担当者の変更)

- J X金属㈱人事異動(4月1日より) により
 1. 協会長の引継ぎ(三浦会長の異動による)

三浦章 会長がJ X金属及びパンパシフィック・カップーチリ事務所に転勤され、後任として現在・佐賀製錬所長の和気収殿が4/1付、異動後協会長を引継ぎいたします。
 2. 協会担当者の変更(佐藤さんの金属事業本部異動による)

佐藤利秋殿(環境リサイクル事業本部企画部長) ⇒ 井上祐介殿(環境リサイクル事業本部 営業部営業・事業推進担当 参事)

※井上さんは広報委員も引継ぎいたします。
- 三菱マテリアル㈱人事異動(4月1日より) により

担当者の変更(阿部さんの細倉金属鋳業㈱異動による)

阿部信二殿(金属事業カンパニー・リサイクル部部長補佐) ⇒ 高木真言殿(金属事業カンパニー・リサイクル部部長補佐)
- 日本無機化学工業㈱担当者の変更

本間賢一殿(営業部長) ⇒ 佐藤義彦殿(取締役 管理部長)
- 神鋼リサーチ㈱担当者の変更

塚田拓哉殿(産業戦略情報本部 調査二部) ⇒ 北浦伸幸殿(産業戦略情報本部 調査二部 部長)
- 相田化学工業㈱担当者の変更(西宮さんの退職による)

西宮知明殿(Au 営業部課長) ⇒ 佐藤辰男殿(AU 営業部バインズマテリ

アル事業部 部長) …暫定担当いたします

3. 各運営委員会の報告

● 運営委員会

現・岩崎信男運営委員長(新興化学工業㈱)は次期副会長(候補)となりました。次期運営委員長(理事)として川上好武運営委員(ミヤマ㈱)を推薦しております。また今期で河原委員(日本無機化学工業㈱)は委員を退任することになりました。

吉岡委員(石福金属興業㈱)、新崎委員(堺化学工業㈱)、重村委員(クラリアント触媒㈱)木島委員(日揮触媒化成㈱)、菊地委員(日誠金属㈱)殿の5氏には来期も継続をお願いしております。来期新任運営委員として田原新也(安田薬品㈱)、大場太祐(㈱フルヤ金属)、岡野由宇(横浜金属㈱)の3氏をお願いしております(敬称略)。

● 調査・技術委員会

来期の調査・技術委員会の委員は、現委員の継続をお願いいたしました(敬称略)。委員長(理事)兼レアメタル部会長・水野光男(アジア物性材料㈱)、貴金属部会長・野口委員(エヌ・イーケムキャット㈱)、Ni-Co部会長・永田委員(日興リカ㈱)、Mo-V-W部会長・荒巻委員(太陽鋳工㈱)、アルミナ他部会長・堀内委員(キンキメタル産業㈱)、委員長以下4名(計5名)で運営する予定です。

● 広報委員会

来期の広報委員会の西野正人委員(中外鋳業㈱)は監事に推薦されているため委員会は1名減となりますが、現行の委員長と委員2名(計3名)で切り抜けることになりました。

委員長(理事) 尾沼 涼(ジョンソン・マッセイ・ジャパン合同会社) 殿

委 員 渡部真治(川研ファインケミカル㈱) 殿

委 員 井上祐介(J X金属㈱) 殿

4. 事務局より(4月度の予定) 出勤予定: 11日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	1	2
× (M)	× (G)	○	×	○	○	×
3	4	5	6	7	8	9
×	○	× (G)	○	○	× (W)	(M)
10	11	12	13	14	15	16
×	JSCRA 会	会計監査	× (C)	○	× (W)	×
17	18	19	20	21	22	23
×	×	○	×	運営委(予)	○	×
24	25	26	27	28	29	30
×	×	○	×	○	昭和の日	×

5.【雑学】町田市の境界を巡る2.（すずかけ台駅～鶴川駅まで歩く）

12月の中旬、前回の終点である東急田園都市線のすずかけ台駅に集合して、小田急鶴川駅まで山坂の多い約14kmを北上するタフなウォーキングがはじまる。町田市の東部は横浜市の緑区・青葉区、川崎市の麻生区に接して一部境界には尾根道もある。

町田側のすずかけ台駅前は南つくし野という町名でもあり、昭和47年開業当初、東急は駅名を「南つくし野駅」と命名予定であったが、東京工業大学から駅名に「すずかけ」を入れてほしいとの要望があり、東急がそれを採用し「すずかけ台駅」としたそうだ。



すずかけの木は学名「プラタナス」
駅前のすずかけの木



田園都市線の陸橋を渡って旧大山街道〈大山街道は略現在の246号線〉に向う。すぐに小高い通称馬の背といわれる鞍部に到着する。好天であれば、ここは町田市が一望の下、さらに大山、丹沢、富士山さえ見渡せる場所である。富士の頭がわずかに見える。



昔ここは小川村（現・つくし野）で小字名は「馬瀬」「馬の背」と呼ばれていた。

それでは今回のコースを紹介する。

東急田園都市線すずかけ台駅 ⇒ つくし野駅 ⇒ なすな原遺跡 ⇒ 恩田川 ⇒ 成瀬街道 ⇒ 東雲寺 ⇒ 成瀬尾根 ⇒ 玉川学園 ⇒ 鶴見川 ⇒ ポプリホール



県境に近いつくし野4丁目の一部は深い谷戸になっており、東急つくし野駅の近道はこの階段道路だとか。15×5=75 段もあって、一般の住民が利用するのだろうか。相当にきつい階段である。この



クリスマスモードの田園都市線つくし野駅前広場とつくし野駅



階段を上ったところから県境の境界を確認し、つくし野駅に立ち寄る。

つくし野駅を出、田園都市線に沿って進むと横浜線にぶつかる。南成瀬方面に行くには横浜線と東急長津田車両基地に架かる横浜線陸橋を通らなければならない。ここ東急電鉄長津田電車区・操車場建設の際、約 12,000 年前の縄文期の遺蹟「微隆起線文土器（びりゅうきせんもんどき）」が発見され復元された。ここが、なすな原遺蹟と

命名された。この土器は長野県須坂市の石小屋洞窟遺蹟から出土した土器と並び日本最古といわれ世界的にも評価されているそうだ。

《原嶋源衛門供養塔》



成瀬クリーンセンターに近接する小高いところに原嶋源衛門供養塔がある。

約300年前の享保期に成瀬東光村と長津田村の境界争いから指導的な名主原嶋源衛門が処刑された場所である。

当時の老中松平定信は将軍吉宗の意向を受け「享保の改革」を行い、穀物類の増産奨励等、そのひずみが新田開発、境界争いに発展したものと思われ、見せしめとして処断されたものと思われる。



恩田川と成瀬街道から見た成瀬クリーンセンター



成瀬 5-20、吹上のバス停付近

恩田川に架かる都橋を渡って対岸の成瀬街道に向う。吹上の信号から右手の山に入る。かなり急傾斜の住宅内の坂道で、ここも恩田川の河岸段丘なのだろうか見晴らしは素晴らしい。都県境の両方に住宅があり、町田・横浜と管轄が違うが、一目では判らない。隣人同士の交流及び行政サービスはどんなものであろうか？などと考えながら成瀬尾根を進み、風の広場で一休み後、急坂を下って昼食予定の東雲寺と杉山神社に向う。この時

は、昼食後に又この急坂を登るとは迂闊にも考えていなかったのだ！

《東雲寺・杉山神社》 東京都町田市成瀬 4-14-1

東雲寺は曹洞宗の寺院で龍谷山成就院という。

成瀬、小川（現町田市の成瀬・小川地区）を知行地としていた旗本の井戸石見守弘道は、幕末動乱期に浦賀奉行の一人としてペリーから米大統領の親書を受取る重要な役目を果たした。その井戸石見守弘道夫妻の墓がここ東雲寺にある。



幕府は最初、ペリーに浦賀奉行所与力〈上から三番目〉の香山栄左衛門と中島三郎助を対応させた。しかしペリーは老中クラスの高官を出すよう要求したが奉行クラスに止め、その時の対応した浦賀奉行は戸田伊豆守氏栄と井戸石見守弘道であった。



鶴見川流域には多くの「杉山神社」が存在し、町田市内では5ヶ所あるうちの 一つである。創建は不詳だが、棟札から約 350 年前の寛文8（1668）年に代官福井清兵衛と地頭井戸忠兵衛勝吉により社殿創建がされたとある。昭和57年都市化等で恩田川沿いから、この地



に移転した新しい社殿である。またここには、現在の町田市立南第二小学校の元となった学び舎があったという石碑が建立されている。



昼食後、先ほどの県境へ坂道を登り成瀬尾根を歩くことになる。深い木立に囲まれた遊歩道は、たまには左右に住宅が見えるものの、まるで野山のハイキングに来たかと思われる静寂な雰囲気がある。尾根道の町田市側は大規模住宅地として開発された成瀬三丁目から成瀬台二、三、四丁目があり、深く切れ込んだ山下の横浜市側も宅地が押し寄せ、青葉区奈良三、四、五丁目

となっている。

玉川学園までの境界道路は、尾根道で町田側も横浜側も深い谷になっている。ここによく住宅やマンションを作ったものだと感心する場所だ。玉川学園に近づくと尾根道も舗装された一般道となる。マンション「ワコーレ」を過ぎ信号を渡ると「学校法人玉川学園」



奈良北団地交差点から団地を望む

成瀬尾根から降りるとそこは成瀬台〈町田市〉住宅街だが、スーパー三和は横浜市青葉区奈良北にある。高層の団地は奈良北団地である。再度団地裏から境界道路に挑戦する。



奈良北と玉川学園の境界道路

はもう近い。学園は幼稚園から小中高大と1万名の生徒・学生が学び、町田市、横浜市、川崎市に跨りその面積は約59万㎡に及ぶ広大なキャンパスとなっている。



玉川学園高等部の校舎



高等部を過ぎ大学の農学部に入る手前に道路に埋められた3市境界の標識〈右の写真〉が学内にある。約180°が町田市で120°が横浜市、60°が川崎市で学園の面積比を表しているようだ。

農学部の入口には学園の創始者・小原国芳の揮毫による「農為国本」の石碑がある。

玉川学園は昭和4年、小原国芳により創設され、新制玉川大学は昭和24年、農学部と文学部の2学部でスタートしたが、現在では、農学部、文学部、工学部、経営学部、教育学部、芸術学部、リベラルアーツ学部、観光学部の8学部を有する総合大学となっている。

町田市と川崎市の境界は玉川学園に隣接する和光大学の学内を横切っている。玉川学園から和光大学内へは入れないのでウォーキングは、農学部第二校舎と農学部実験農地を過ぎたところから丘を下って歩行者や二輪程度が通れる小田急線の踏切を渡る。

踏み切りの左・玉川学園駅方向はトンネル、右の鶴川駅方面の線路は大きくカーブしているところで電車の見通しが悪い踏切である。踏切を渡った地点は和光台住宅（金井町）で鶴川駅もうすぐだ。



学園と和光台間の踏切で 2015.12.18



線路に平行の道を行く一行 2015.12.18

に留まっている車のナンバーも町田側は多摩ナンバー、川崎側は川崎ナンバーが多いようだ。鶴川駅近辺の鶴見川旧河川は水辺公園になっており、鶴見川も、河川改修前はかなり蛇行していたことが判る。重い足取りで歩いているうちに、本日終点の「和光大学ポプリホール鶴川」と命名された市の複合施設前に 15:30 到着となる。本日のコースは高低差のある約 14 km を歩行時間、約 6 時間のタフなウォーキングであった。自分も 40 年間、町田市に住んでいながら全コースは初めて歩いた場所である。かなり疲れはあったが、終わってみると達成感を得た日であった。引き続き鶴川駅を基点とし唐木田駅までの次回のウォーキングもしばらくは丘陵コースが続くようだ。

和光台住宅地の中を通り、丘を下ると町田市と川崎市の境界は、ほぼ小田急線の上になる。鶴川駅まで、線路に平行している道を行くと鶴見川に至る。先には鶴川駅前の高層マンション群が目に入る。もうすぐ終点が近い。

鶴見川も河川改修されているため、線路の西側にも一部、川崎市麻生区岡上の地区がある。当然ながらこの地区の住宅



鶴見川の旧河川が水辺公園に 2015.12.18

記：小林 尚道

【文責：専務理事】